

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立岩美高等学校

校長 中 島 靖 雄

評 価 日	平成 30 年 2 月 19 日 (月)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①進路指導の充実・・・B 評価</li> <li>②生徒指導の充実・・・C 評価</li> <li>③保健・人権教育の充実・・・B 評価</li> <li>④学習指導の充実・・・C 評価</li> <li>⑤開かれた学校づくりの充実・・・B 評価</li> </ul> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>学校の取組状況は、学校評価アンケートの結果をもとに評価されており、学校関係者評価委員に適正に説明されている。また、学校HPを活用して生徒の活動と自己評価が地域に情報発信されている。</p> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>裁量予算は、学校の重点目標に照らして適切に割り振られている。地域連携の重点校として活動がより活性化されることを望む。手話への取組みも期待する。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「進路指導の充実」について、生徒は実に様々なところへ進学・就職している。今後もこの傾向が続くと思われるので、3年間見通した個に応じた適切な進路指導を期待する。</li> <li>○「生徒指導の充実」で頭髪指導の難しさはあると思う。厳しい指導に対して鬱陶しく思うこともあったが、保護者として手を入れてもらっている安心感もあった。きめ細かな指導が岩美高校の良さである。</li> <li>○「個を大切にした教育環境の改善」での岩美校版UD等チェックリストの取組みは、生徒にとっていいことである。改良を加えながら更により取組みとして行ってほしい。</li> <li>○「学習指導の充実」に関して、授業では少人数指導がされており、生徒一人ひとりをよく見てもらえている。これが岩美高校の魅力である。</li> <li>○「開かれた学校づくりの充実」では、一つの方策としてイワツ・ミッションの取組みをとおして地域とのつながりを広げて行ってほしい。</li> </ul>	<p>○効果のあった取組みは継続しつつ、目標達成に向けて内容の研究を深め、組織的体制を確立させる。</p> <p>○学校評価アンケートは年度毎の変化が見られるよう同じ質問を基本として、目標に則した質問も取り入れている。</p> <p>○手話への取組みは手探りで始めており、県内に広がりとしている。地域連携と基礎学力向上の重点校としても検討する。</p> <p>○進路と、その先にある生徒一人ひとりの幸せな生き方を目標に取り組んでいる。</p> <p>○保護者や卒業生の学校への思いは励みになる。基準を明確にして丁寧に関わっていく。</p> <p>○チェックリストで職員の意識を高め、効果的な支援につなげたい。</p> <p>○基礎学力の定着に向けて、タブレットの活用も含め、研究していく。</p> <p>○地域連携重点校として、地域連携の体制を確立させていく。</p>	